報道関係各位

2015 年 2 月 27 日
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社

シティ、気候変動対策や環境保護などの持続的成長支援のための案件を
今後 10 年間で総額 1000 億ドル相当実行

ニューヨーク： シティグループ・インク*（以下「シティ」）は今般、気候変動による影響の軽減や、地域社会・住民に役立つ環境問題の解決と支援に、今後 10 年間で総額 1000 億ドルの融資、投資、資金調達の案件を実行する計画を発表しました。シティは 2007 年にも 500 億ドル相当の同様の計画を発表しましたが、目標の 3 年前にあたる 2013 年に計画を達成しました。

この度の計画により、シティは、再生可能エネルギーやエネルギー効率向上に向けた資金調達の分野で業界のリーダーとしての地歩をさらに固めてまいります。また、持続可能な輸送手段など、その他の業種における温室効果ガスの削減や資源効率向上を目的とした資金調達について、お客様と積極的に協同してまいります。

シティの最高経営責任者であるマイケル・コルバットは「シティは環境への影響に配慮するだけでなく、持続的成長につながるプロジェクトへの資金調達の支援に注力しています。200 年以上にわたって、シティは改革的なプロジェクトに資金調達し、経済成長を支援することを使命としてきました。この使命の核に変わりはありませんが、アプローチの仕方が変わりました。持続可能性という原則を私たちの業務の全てに取り入れ、当社自身の業務の向上だけではなく、お客様の事業の強化、よりよい世界への貢献を目指しています。」と述べました。

世界五大陸の 40 大都市で構成する、世界大都市気候先導グループ（The Large Cities Climate Leadership Group）、C40 のジェームズ・アレクサンダーは次のように述べました。「二酸化炭素排出量を削減し、気候変動に対応することは世界の大都市や経済界にとって、重要な課題になってきています。C40 とシティのパートナーシップをもって、世界中の都市の気候関連の資金調達のお手伝いをすることができます。本日のシティの発表は、各都市の気候問題の解決や企業の持続的成長の達成の一助となるでしょう。」

今般の環境問題に関する計画は、環境・社会的リスク管理およびシティの事業・業務の持続的成長を含めた 5 か年の持続的成長の目標の一環です。

シティは、2020 年までに、2005 年を基準に温室効果ガス排出量を 35％、エネルギーと水の使用量を 30％、廃棄物を 60％削減する環境関連の目標を設定しました。この計画の一環として 2050 年までに温室効果ガスの排出量を気候科学論に基づいて 80％削減する長期的な目標も掲げています。また、シティが所有、賃貸しているオフィスビルなど不動産の 33%において LEED 認証を取得することを目標に、改装後にシティのグローバル本社になる予定のニューヨークのグリニッジにあるオフィスの LEED プラチナ認証取得を目指しています。

シティは、2015 年までの目標として掲げた温室効果ガス排出量と廃棄物の削減を 2 年早い 2013 年に達成

し、2005 年を基準に、温室効果ガス排出量を 25%、廃棄物排出量を 41%削減しました。水の使用量の 20%削減、オフィスビルなど不動産のエネルギー効率の 20%向上と 15%の LEED 認証取得を目指し、2015 年の目標を達成する予定です。

環境・社会的リスクの管理は引き続き重要な優先事項であり、社内の基準やポリシーを新たなリスクや新商品開発に対応させています。シティは発展途上国に投資する際の環境基準を示したガイドライン「エクエーター原則」の創立メンバーです。

地球温暖化などの環境問題に関する企業の取り組みを推進するネットワークを構築した NGO、セリースのプレジデントであるミンディー・ラバーは次のように述べています。「気候変動は経済のあらゆる分野に影響を与えます。金融業界はクリーンエネルギーへの投資拡大に大きな役割を担っており、シティがその取り組みの拡大と革新にリーダーシップを発揮されていることに賛辞をおくりたいと思います。」

*(2015 年 2 月 19 日にシティグループ・インクが発表したプレスリリースを元に作成しました)

# # #

[添付資料： シティの日本国内での取組みに関して]

報道関係お問い合わせ先：
シティ コーポレート・アフェアーズ
03-6270-9848

シティは、世界160以上の国と地域に約2億の顧客口座を有する世界有数のグローバルな銀行です。個人、法人、政府及び団体を対象として、個人向け銀行業務やカードビジネス、法人・投資銀行業務、証券業務、トランザクション・サービス、資産管理の分野において、幅広い金融商品やサービスを提供しています。
詳しくはこちらをご覧ください。
www.citigroup.com | Twitter: @Citi | YouTube: www.youtube.com/citi | Blog: http://blog.citigroup.com | Facebook: www.facebook.com/citi | LinkedIn: www.linkedin.com/company/citi

[添付資料： シティの日本国内での取組みに関して]

・国内の LEED 認証の進捗に関して

新宿イーストサイドスクエア(SES)新オフィスは USGBC（米国グリーンビルディング評議会）が与える LEED (Leadership in Environmental and Energy Design)の最高値であるプラチナ認証を獲得しました。

SES では計画当初から、環境への配慮に取り組んでまいりました。新オフィスでは、LEED 認証に必要な下記の項目を取り入れています。

・新しい雑排水システムの活用により、水の使用量を 60%以上削減。
・適正なルクスレベルを維持する高効率照明システムの活用により、照明電力を 40%削減。
・オフィス空間は点灯電力を最小化するため、日光や人を察知するセンサーを装備。
・新しく購入した電気機器や設備の 95%以上がエネルギースター規格の基準に適合。
・リサイクルを奨励するため、厳格な建設廃棄物管理プログラムを導入。
・リサイクル素材を多く用いた家具や建設材料を採用。
・シックハウス症候群を避けるため、低発光塗料、接着剤、カーペットや家具を採用。
・オフィス内に平均より 30％多くの屋外の空気を供給。
・環境負荷の低減のため、高密集地域にあり、複数の交通機関が利用可能である効率的なビルを選択。

その他、日本ではシティバンク銀行の 7 支店が LEED 認証を取得しています。グローバルでは、シティは所有、賃貸しているオフィスビルなど不動産の 33%において LEED 認証を取得することを目標にしていますが、日本国内では既に 37％を達成しています。

・日本国内の持続的成長の案件

シティバンク銀行は、シティのグローバルネットワークを活用し、日本国内で企業の再生可能エネルギーに関連したプロジェクトの資金調達を行っています。
今後も、シティは日本国内および海外での再生可能エネルギーや環境問題に関連する持続的成長につながるプロジェクトへの資金調達の支援に注力してまいります。

また、シティは 2014 年に日系オートファイナンス企業の資産担保証券型の「グリーンボンド」発行の主幹事を務め、日系企業初の当商品は発行総額が 17 億 5 千万に上りました。